

道路防災点検結果入力用ファイル 利用要領

修正点の概要

- ◇p.1 「2 システム要件」
 - <注意>に、Windows7 と Excel 2010 環境での動作確認他の一文を追記した。
 - Microsoft Update のリンク先を、最新の URL に変更した。
 - 現在は Microsoft Update で Office が未更新になることはほとんどないため、Office Update の URL は割愛した。
- ◇pp.3～6 「3-2 入力の開始」
 - セキュリティの設定方法が異なるため、【Excel 2000～2003 の場合】と【Excel 2010 の場合】に分けて記載した。
- ◇p.14 「4-2 項目別入力の補足」
 - 「所見」欄の入力制限が 505 文字であることを追記した。
- ◇p.23 「6 被災履歴記録表の入力」
 - 「規模」「被害」欄の入力制限が 255 文字であることを追記した。

平成 24 年 9 月

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

道路防災点検結果入力用ファイル

利 用 要 領

平成 1 8 年 1 2 月

(財) 道路保全技術センター

- 目次 -

1	はじめに	1
2	システム要件	1
3	基本操作	2
3-1	雛形ファイルについて	2
3-2	入力の開始	3
3-3	シートの切り替え	7
3-4	入力の流れ	8
3-5	画面の拡大・縮小	9
3-6	ファイルの保存	9
4	箇所別記録表の入力	10
4-1	入力項目の種別と入力規則	10
4-2	項目別入力の補足	11
5	安定度調査表の入力	19
5-1	選択と評点	20
5-2	囲い線による選択	20
5-3	安定度調査表の複製	22
6	被災履歴記録表の入力	23
7	現状記録写真の入力	24

巻末資料

道路防災点検結果入力用ファイル補足説明

1 はじめに

本書は道路防災点検の結果を、専用のデータ入力用ファイルに記録するための操作について解説したものです。

本プログラムで採用している記録様式は、平成18年9月29日付け事務連絡（国土交通省 道路局 国道・防災課課長補佐、道路防災対策室課長補佐、地方道・環境課課長補佐、有料道路課課長補佐 連名）、「道路における災害危険箇所の再確認について」の実施要領、第4条（2）で示される「点検要領」に基づくものです。

2 システム要件

道路防災点検データ入力用ファイルへの入力を行うには、以下の条件を満たすコンピュータが必要です。

CPU	PentiumⅡ 400MHz 相当以上
メモリ	128MB 以上
OS (右記のいずれか)	Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Windows XP Professional Microsoft Windows XP Home Edition
アプリケーション (右記のいずれか)	Microsoft Excel 2000 Microsoft Excel 2002

Pentium は 米国 Intel 社の登録商標です。

Windows 2000、Windows XP 及び Microsoft Excel 2000、2002 は
米国 Microsoft 社の登録商標です。

<注意>

OSとアプリケーションは最新のアップデートファイルにすることを推奨します。
ご利用のOS、エクセルが最新版になっているかの確認は以下のURLで確認できます。
Microsoft Update
<http://www.update.microsoft.com/microsoftupdate/v6/default.aspx?ln=ja>

なお、Microsoft Excel 2010（OS：Windows XP またはWindows 7）での基本動作については確認を行っていますが、不具合と思われる現象がみられた場合は事務局までお問い合わせください。

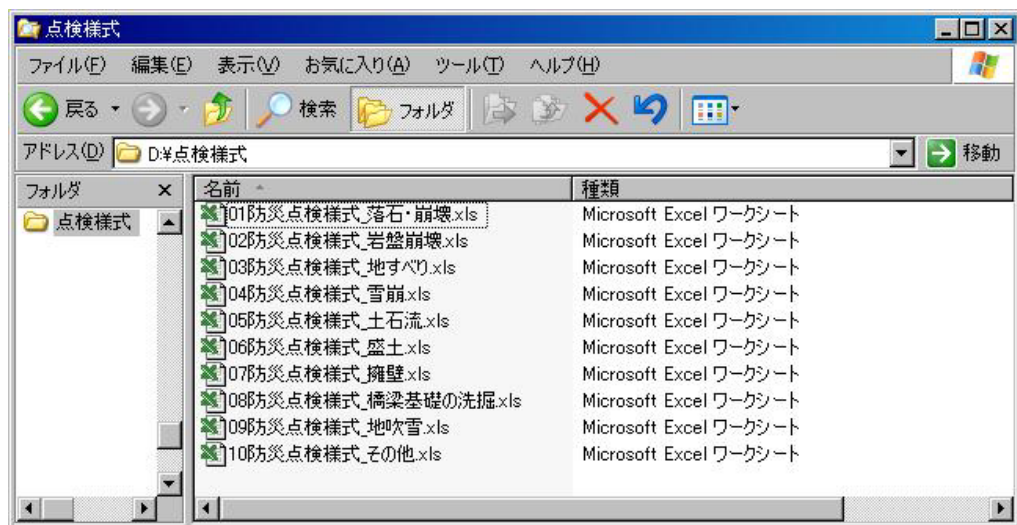
3 基本操作

3-1 雛形ファイルについて

新規に入力を行なう場合は、最初に使用する雛形ファイルをデスクトップなど任意の場所にコピーし、そのコピーしたファイルを使用してください。配布した雛形ファイルを上書き保存しないでください。

入力にあたっては、点検対象項目により使用する雛形ファイルが異なるので注意してください。

今回提供する道路点検データ入力用ファイル（雛形ファイル）は以下の通りです。



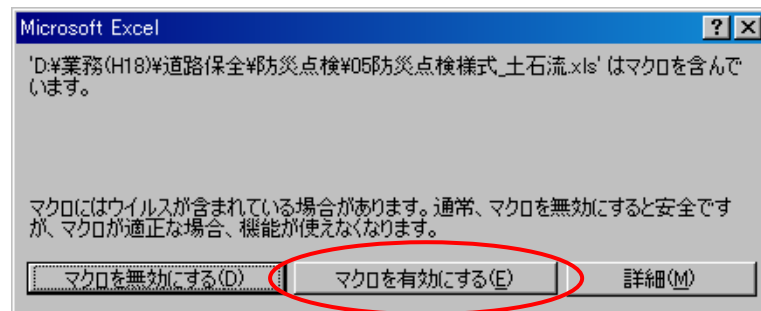
それぞれの点検項目毎に利用するファイルが異なりますので下表を参考に必要なファイルを利用して下さい。

点検対象項目	箇所別 記録表	安定度 調査表	災害履歴 記録表	現況記録 写真	雛形ファイル名
落石・崩壊	様式-2	様式-7	様式-16	有	01 防災点検様式_落石・崩壊.xls
岩盤崩壊	様式-3	様式-8	様式-16	有	02 防災点検様式_岩盤崩壊.xls
地すべり	様式-3	様式-9	様式-16	有	03 防災点検様式_地すべり.xls
雪崩	様式-4	様式-10	様式-16	有	04 防災点検様式_雪崩.xls
土石流	様式-3	様式-11	様式-16	有	05 防災点検様式_土石流.xls
盛土	様式-3	様式-12	様式-16	有	06 防災点検様式_盛土.xls
擁壁	様式-3	様式-13	様式-16	有	07 防災点検様式_擁壁.xls
橋梁基礎の洗掘	様式-5 様式-6	様式-14	様式-17	有	08 防災点検様式_橋梁基礎の洗掘.xls
地吹雪	様式 4	様式-15	様式-16	有	09 防災点検様式_地吹雪.xls
その他	様式-3	無	様式-16	有	10 防災点検様式_その他.xls

3-2 入力の開始 【EXCEL2000～2003の場合】

配布した雛形ファイルをデスクトップなどに別名で保存してください。別名で保存したファイルをダブルクリックすると Microsoft Excel が起動します。

以下のような画面が表示されるので、[マクロを有効にする(E)]をクリックしてください。



(ダブルクリックしてもファイルが開かない場合は、Microsoft Excel を起動してからメニューの「ファイル」→「開く」で表示されるウィンドウから別名で保存したファイルを指定してください。)

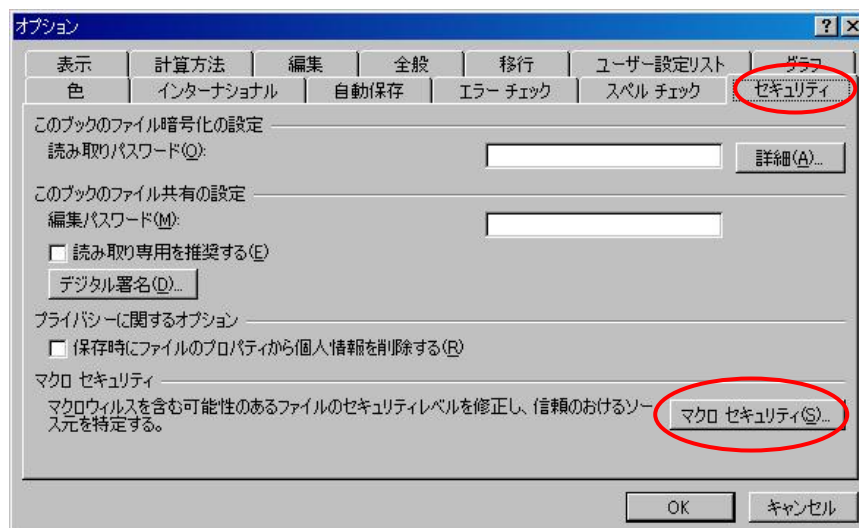
セキュリティが「高」に設定されており、マクロが実行できない場合はこのようなメッセージが表示されます。



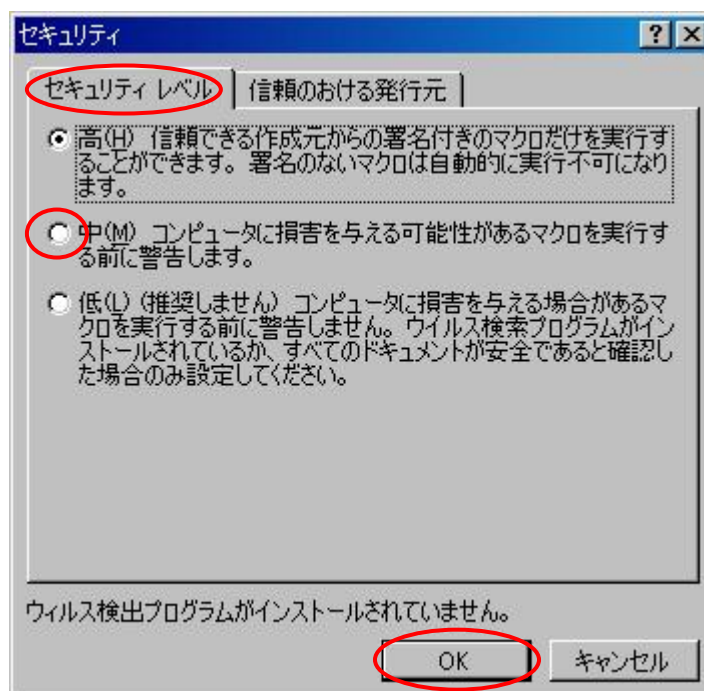
OK をクリックし、一旦ファイルを閉じた後、セキュリティについて以下を実施してください。

ファイルは開かずに Microsoft Excel のみを起動し、メニューから「ツール」→「オプション」を選択します。

表示された画面の「セキュリティ」タブをクリックし、[マクロセキュリティ]ボタンを押してください。



セキュリティの画面が表示されるので、「セキュリティレベル」タブをクリックし、レベルを確認してください。「高」になっている場合は、「中」に変更してください。「中」に変更後、OK ボタンを押してください。

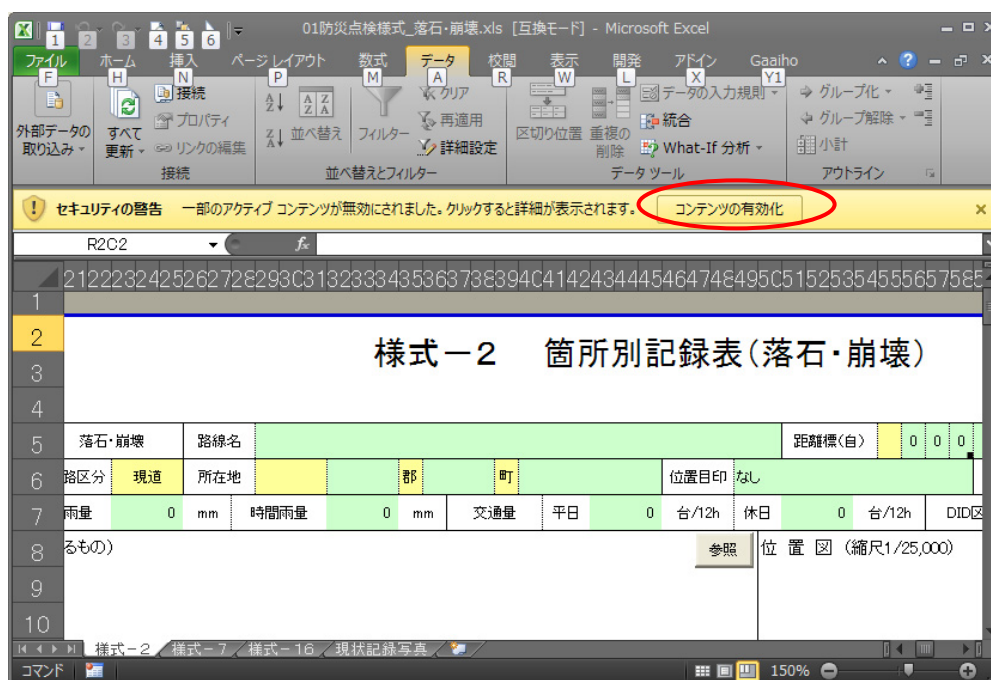


3-2 入力の開始 【EXCEL2010の場合】

配布した雛形ファイルをデスクトップなどに別名で保存してください。別名で保存したファイルをダブルクリックすると Microsoft Excel が起動します。

※保存時のファイル拡張子は必ず“.xls”にしてください。 .xlsm、.xlsx など EXCEL2007 以降の形式は「道路防災点検結果管理プログラム」では対応しておりません。データベースへの登録が出来なくなります。また.xlsx 形式ではマクロを保存する事が出来ません。

起動後、以下のような画面が表示されるので、「セキュリティの警告」メッセージバーの[コンテンツの有効化]をクリックしてください。マクロが実行出来るようになります。



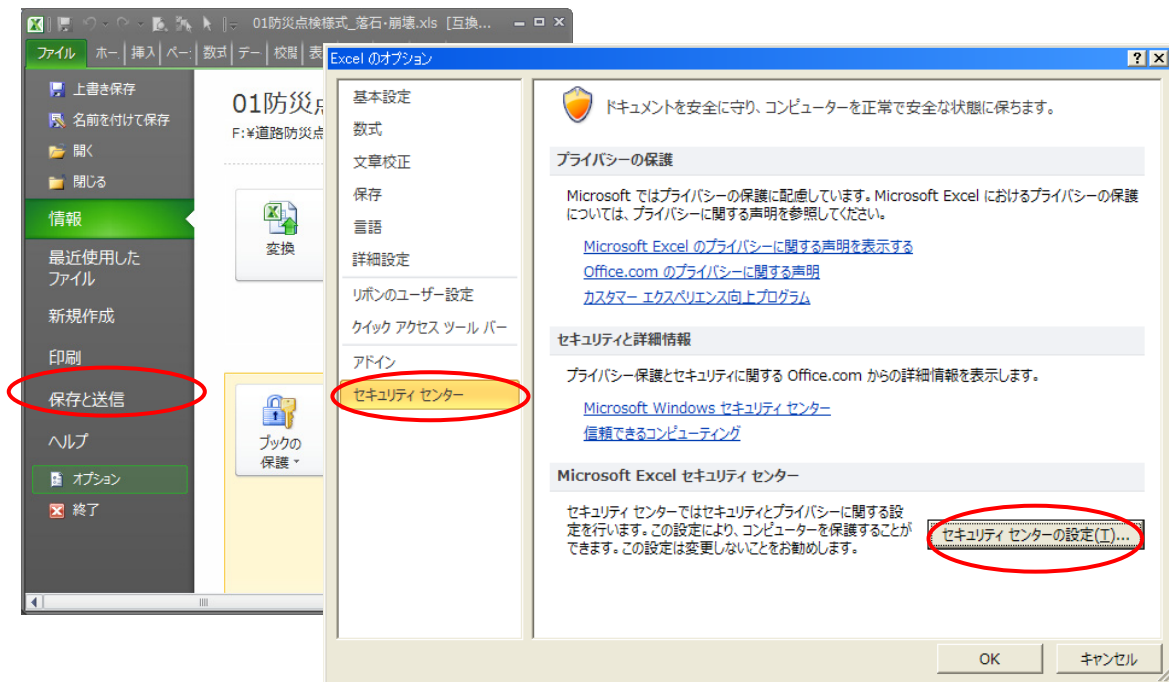
(ダブルクリックしてもファイルが開かない場合は、Microsoft Excel を起動してからメニューの「ファイル」→「開く」で表示されるウィンドウから別名で保存したファイルを指定してください。)

ファイルを開いても「セキュリティの警告」メッセージバーが表示されず、マクロが実行できない場合、セキュリティセンターでマクロの設定を変更します。
一旦ファイルを閉じた後、以下の処理を実施してください。

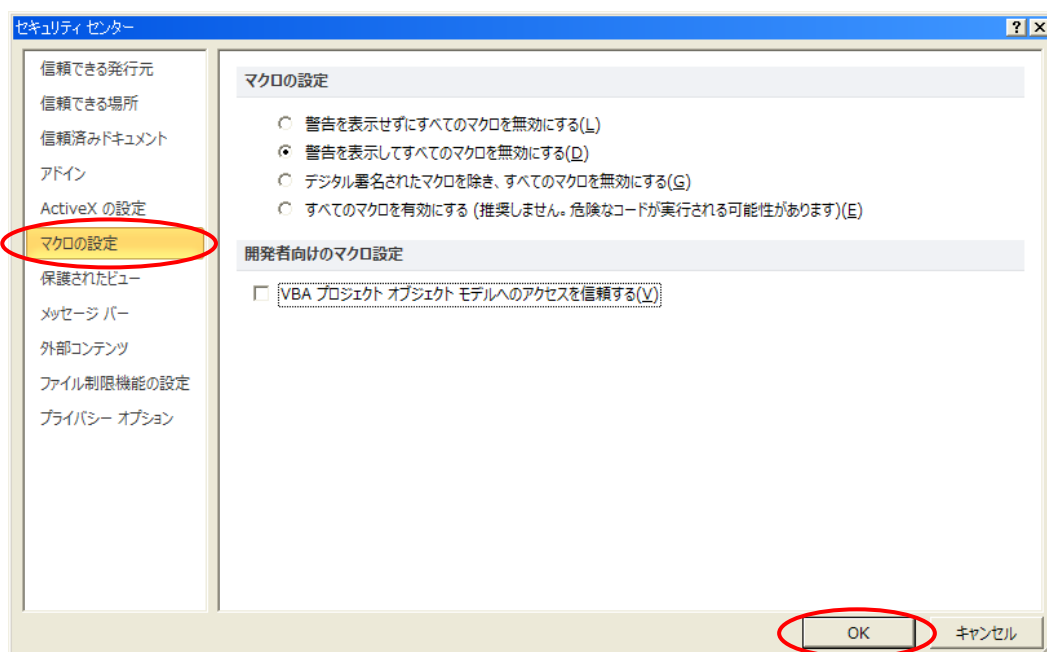
Excel を起動します。

Excel の[ファイル]タブをクリックし、[ヘルプ]の[オプション]を選択します。

「オプション」ダイアログが表示されるので[セキュリティセンター]→[セキュリティセンターの設定]ボタンをクリックします。

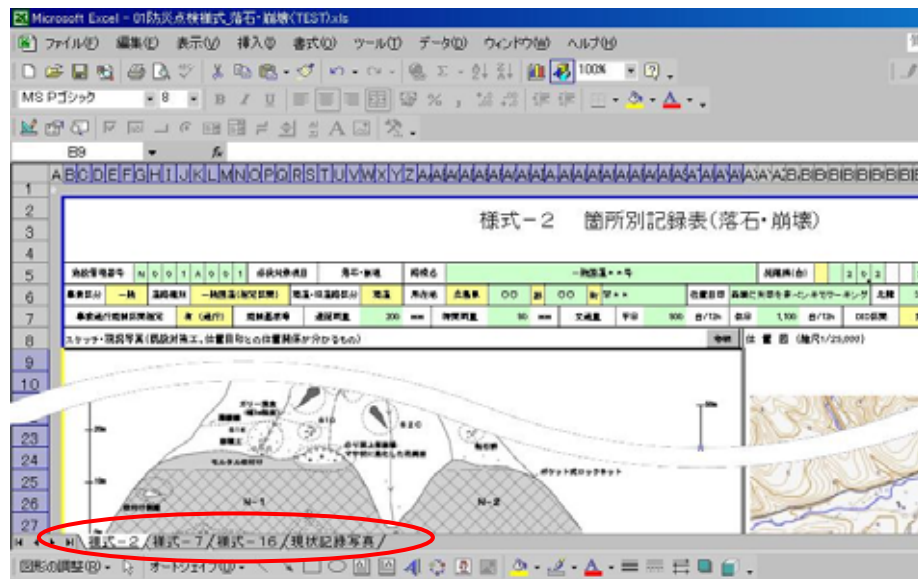


[セキュリティセンター]の[マクロの設定]をクリックし「警告を表示してすべてのマクロを無効にする」にチェックをつけます。変更後、OK ボタンを押し再度ファイルを開いて下さい。



3-3 シートの切り替え

箇所別記録表、安定度調査表などのシート(様式)の切り替えは、画面下のタブをクリックすることで行ないます。



3-4 入力の流れ

各点検対象項目の箇所別記録表の上部に入力した諸元項目は同一ファイル内の他の様式にも反映されます。また各安定度調査表の評点および総合評価は、同一ファイル内の箇所別記録表に反映されます。



< 注意 >

マクロやセルに含まれる計算式は書き換えないでください。

3-5 画面の拡大・縮小

表示される文字が小さくて見にくく、拡大したい場合やシート全体を画面上で表示したい場合は、Excel の画面の表示倍率を変更することで、一部の拡大表示やシート全体を表示することができます。

画面上部の縮尺入力枠の▼をクリックすることで、表示倍率のリストが出ますので、選択してください。数字の部分に直接入力を行なうことで、任意の倍率で表示することも可能です。

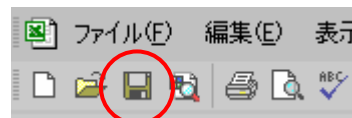
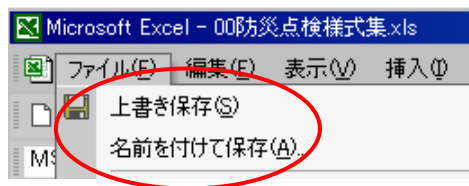


※お使いのパソコンの環境によっては、表示位置が画面上部ではない場合があります。

縮尺入力枠が表示されていない場合には、画面上部のメニューの「表示」→「ツールバー」から「標準」を選択してチェックを入れた状態にしてください。

3-6 ファイルの保存

入力後、保存を行なう場合はメニューの「ファイル」→「名前を付けて保存」もしくは「上書き保存」で保存してください。（保存のアイコンからでも構いません。）



ある程度入力を行ったところで、適宜保存を行なうことをお勧めします。

< 注意 >




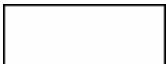
ファイル名については任意ですが、各管理下における命名規則に従い、重複しないように注意してください。上位管理機関で一括管理することを留意し、特に同一路線で隣接した事務所など間でのファイル名の重複に注意してください。

その他の詳細な機能や操作方法については Microsoft Excel のヘルプを参照してください。

箇所別記録表は、「点検要領」4-2. 調査結果の整理及び、以下の入力方法に従い、正しく入力してください。

項目の色によって以下のように入力する方法、規則が分かれています。

[illegible]

	<p>必須選択項目です。直接入力できません。</p> <p>空白の選択ができるものもあります。</p> <p>マウスで項目をクリックすると、▼が表示されるので▼をクリックしてください。選択肢が表示されるので、該当するものをクリックしてください。</p>
	<p>選択項目です。直接入力が可能です。</p> <p>マウスで項目をクリックすると、▼が表示されるので▼をクリックしてください。選択肢が表示されるので、該当するものをクリックしてください。</p> <p>選択肢に該当するものがない場合は、直接入力してください。</p>
	<p>直接入力する項目です。項目ごとに入力できる文字は決まっています。</p> <p>基本的に自由入力ですが、数量などを入力する項目では半角数字のみになります。</p> <p>特別な入力規則がある箇所では、セル上にメモが表示されます。</p>
	<p>入力できません。</p>

4-2 項目別入力 of 補足

一部の項目について、入力の補足説明をします。

(1) 管理機関名と管理機関コード

管理機関名の黄色の枠をマウスでクリックし、該当する名称を選択してください。

管理機関名の緑色の枠に部署名や事務所名などを入力してください。

検査数字	管 理 機 関 名	選択する						
	管 理 機 関 コ ー ド							

↓

検査数字	管 理 機 関 名	富山県						
	管 理 機 関 コ ー ド	1	6	コードの残りの部分を選択する				

管理機関名を選択すると、管理機関コード欄に各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、都道府県(市町村)、政令指定都市コードが自動的に入力されます。それに続く事務所コードを選択し、管理機関コードとします。都道府県(市町村)、政令指定都市については、7桁目に0が自動で入力されます。都道府県公社、各高速道路株式会社については7桁とも入力してください。

また、[検査数字]ボタンを押すことにより、検査数字が自動計算されます。

検査数字は各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局は7桁目、都道府県(市町村)、政令指定都市は6桁目です。必要に応じて自動計算させてください。

検査数字	管 理 機 関 名	富山県						
	管 理 機 関 コ ー ド	1	6	〇〇事務所				

クリック

自動計算される

(2) 施設管理番号

1マスに半角1文字の入力を行ってください。

施設管理番号	N	0	0	1	A	0	0	1
--------	---	---	---	---	---	---	---	---

(3) 路線名

路線名は、正式な路線名で入力してください。

数字、記号は半角で入力してください。

路線名	一般国道31号
-----	---------

(4) 距離標

百米標(km)および百米未満の距離(m)と分けて次のとおり入力してください。

$Km(4 \text{ 桁})$ $m(2 \text{ 桁})$

距離標(自)	7	2	0	2	9	0	(至)	2	0	3	6	0
--------	---	---	---	---	---	---	-----	---	---	---	---	---

通常はblankとし
距離標がマイナスの
場合は「-」を選択

小 数 点
(固定)

(5) 所在地

所在地は「都道府県」「市、区、郡、支庁」「区、町、村」は選択し、各名称は直接入力してください。

所在地	広島県	〇〇	郡	〇〇	町	字***
-----	-----	----	---	----	---	------

なお、「都道府県」「市、区、郡、支庁」「区、町、村」の組み合わせは次のとおりです。

都道府県	市	区
		町
	区	町
	郡	町
		村

東京都	市	区
		町
	区	町
	郡	町
		村
	支庁	町
		村

(6) 経緯度

緯経度は度・分・秒を分けて数値を半角で入力してください。また秒は小数第1位まで入力してください。

北緯	34	度	39	分	46.0	秒	東経	132	度	21	分	31.0	秒
----	----	---	----	---	------	---	----	-----	---	----	---	------	---

(7) 調査方法

調査方法は3種類選択できます。

3種類以上ある場合や補足説明がある場合は直接入力欄に入力してください。

調 査 方 法	地表踏査	目視点検	空中写真判読	
---------	------	------	--------	--

〇〇計測器を用いて点検を行った
など

(8) 所見など

所見など1つのセルの中で複数行の入力を行ないたい場合は、Alt キー+Enter キーを押すと任意に改行できます。

所 見	亀裂に沿って高さ2m×幅8m程度の範囲にわたってモルタルが剥離している。ロックネット内部には、モルタル剥離箇所や上部斜面からの崩壊土・小落石が認められる。一方、N-2には目立った変状は認められない。
（評価理由）	上部斜面では、S-1およびS-2に小規模な表層崩壊が認められ、斜面上に厚さ0.5～1m程度の崩壊土が分布する。このうちS-1では、崩壊土上にガリー浸食が発達する。S-1、S-2境界の尾根部には、節理が発達してブロック状を呈する花崗岩の露頭がみられる。S-1の斜面下部には、本露頭起源と考えられる小規模な転石群が存在する。 モルタル吹付け部の補修のほか、S1b、S2Aで想定される比較的大きな浮石性落石に対する予防工（ネット・アンカー工）の設置が求められる。また、斜面上部に認められる崩壊地形に関しては、現時点では表層部に限った対策であるが、カルテを作成して崩壊の進行を監視する必要がある。

＜注意＞
所見の文字の入力制限は505文字です
(改行コード含む)

改行をするときは、Alt キーを押しながら、
Enter キーを押す

(9) 重複点検対象項目

重複点検対象項目は「有」を選択した場合に入力が可能となります。

入力が可能になったときに、対応施設管理番号および点検対象項目の入力を行なってください。

[illegible]

重複点検対象項目	対応施設管理番号:	H009G002
有		擁壁

有を選択すると、入力
可能になる

対応施設管理番号を入力
点検対象項目を選択

(10) 平成 18 年度点検結果項目

安定度調査表の入力後に[評価]ボタンを押してください。

平成 18 年度点検結果の評点、総合評価は、安定度調査表に基づき自動的に表示されます(その他を除く全対象項目)。

安定度調査表を複製した場合は、総合評価が「対策が必要と判断される」→「防災カルテを作成し対応する」→「特に新たな対応を必要としない」の優先順位（同評価の場合は評点の高い方）で内容が反映されます。

平成18年度点検結果	評点	（のり面	点	自然斜面	点）	総合評価:	評価
------------	----	------	---	------	----	-------	-----------

安定度調査表の入力後に[評価]ボタンを押すことで、自動的に表示される

複製については 5-3 安定度調査表の複製を参照してください。

(11) 様式-2 地震時の安定性

安定度調査表の入力後に[評価]ボタンを押してください。

様式-2(落石・崩壊の安定度調査表)の地震時の安定性は、安定度調査表に自動的に表示されます。

安定度調査表を複製した場合は、上記(10)のような優先順位（同評価の場合は評点の高い方、同評点の場合は不安定の方）で反映されます。

平成18年度点検結果	評点	（のり面	点	自然斜面	点）	総合評価:	評価
------------	----	------	---	------	----	-------	-----------

地震時の安定性(落石・崩壊のみ):	安定
-------------------	----

安定度調査表の入力後に[評価]ボタンを押すことで、自動的に表示される

複製については 5-3 安定度調査表の複製を参照してください。

(12) 様式-5 橋梁諸元項目

リストの幅より長い選択肢は見えにくくなっている場合があります。

その場合は、項目の脇のボタンを押すことで、幅を広げることができます。

幅を広げると、選択肢が見えるようになります。

選択後はもう一度ボタンを押して、元の幅に戻してください。

橋梁諸元	橋台	構造形式	逆T式橋台
		基礎形式	鋼管杭基礎
	橋脚	構造形式	
		基礎形式	RC中実断面
		橋軸方向幅	RC中実断面
特記事項		RC中実断面	
点検実施		H	年
橋台調査方法		RC中実断面	

押すと幅が広がる

↓


橋梁諸元	橋台	構造形式	逆T式橋台
		基礎形式	鋼管杭基礎
	橋脚	構造形式	
		基礎形式	RC中実断面壁式橋脚
		橋軸方向幅	RC中実断面柱橋脚(1柱角)
特記事項		RC中実断面柱橋脚(1柱角・面取)	
点検実施		H	年
橋台調査方法		RC中実断面柱橋脚(1柱円)	
		RC中実断面柱橋脚(1柱小判)	
		RC中実断面ラーメン橋脚	
		RC中実断面二層ラーメン橋脚	
		RC中実断面三層ラーメン橋脚	

押すと元の幅に戻る

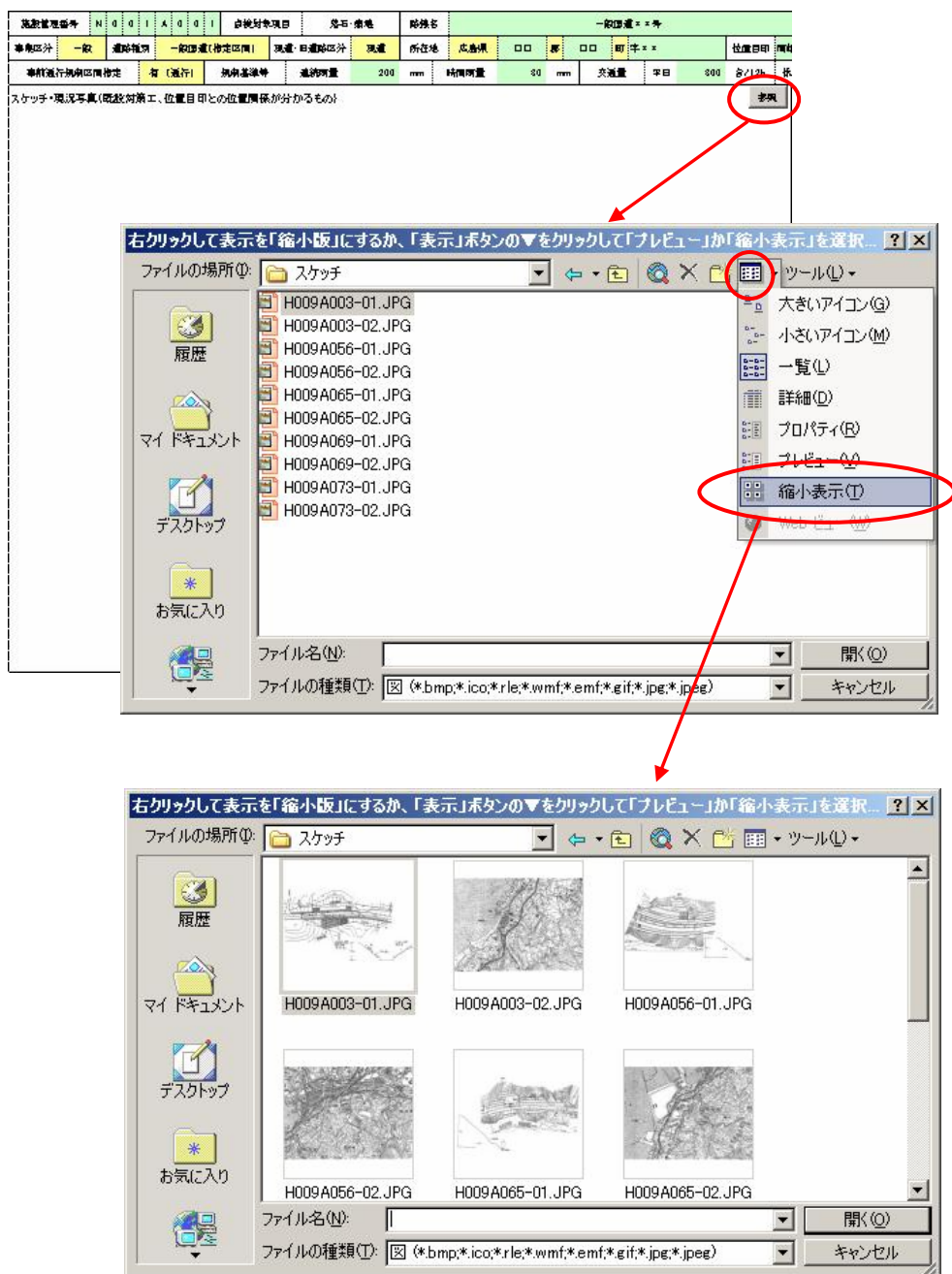
(13) スケッチ・現況写真及び位置図の入力

[参照] ボタンをクリックすると、選択用のウィンドウが開きます。

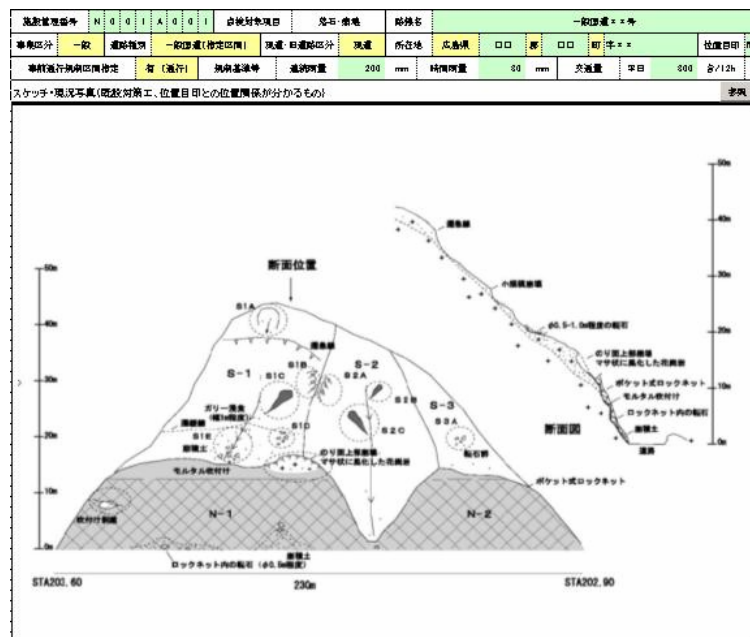
貼り付けたい画像ファイルを選択して開いてください。

※ 画面右上のをクリックし、リストから「縮小表示」を選択することで、画像のイメージを見ることができます。

※ 選択可能なファイルは「ファイルの種類」にある拡張子のファイルです。

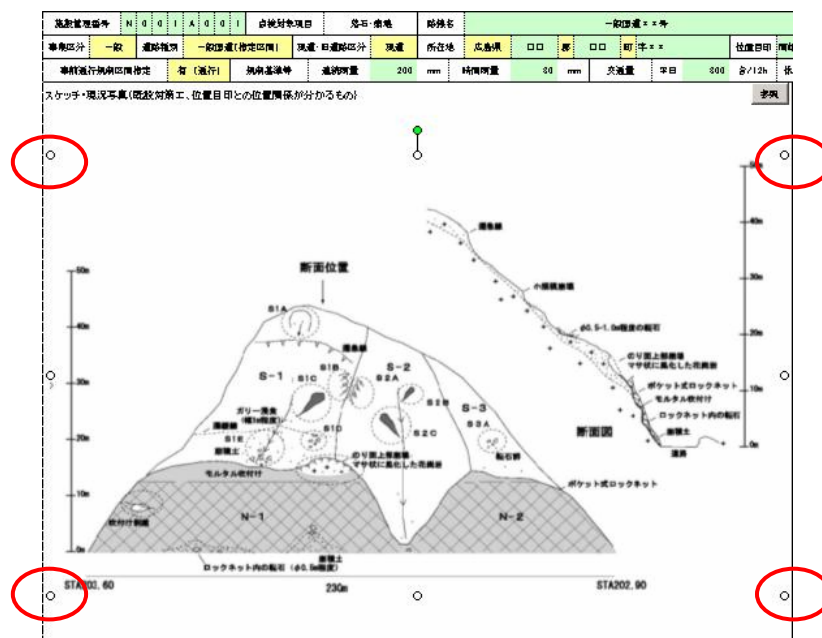


項目枠より大きいものは、自動的に項目枠に収まるように大きさが調整されます。



画像の大きさを調整したい場合は、画像をクリックすると画像の隅に○が表示されるので、○をマウスでクリックしたまま動かすと大きさが変化します。

画像を削除する場合は、画像をクリックすると画像の隅に○が表示されるので、Delete キーを押してください。



文字を入力したい場合は、テキストボックス機能を利用して入力することができます。詳細については Microsoft Excel のヘルプを参照してください。

なお、この他の箇所別記録表における入力の注意点は巻末資料を参照してください。

安定度調査表は、「点検要領」4-2. 調査結果の整理及び、以下の入力方法に従い、正しく入力してください。

[illegible]

19

5-1 選択と評点

調査結果に該当するラジオボタンもしくはチェックボックスをクリックしてください。
ラジオボタン ☐ は該当する選択肢(グループ)から一つ選択することができます。
チェックボックス ☐ は複数選択が可能です。

地 形	崩 壊 性 要 因 を 持 つ 地 形	G1:崖錐地形	G1に該当する	<input type="radio"/>	3	3 (6)
		G2:崩壊跡地	G1に該当せず	<input type="radio"/>	0	
		遷急線明瞭	G2,G3の内 複数地形該当	<input type="radio"/>	3	
		G3:台地の裾部、脚部浸食、 オーバーハング、集水型斜面、 土石流跡地など	G2,G3の内 1地形該当	<input type="radio"/>	2	
			G2,G3の内 該当なし	<input type="radio"/>	0	
		G4:尾根先端な凸型斜面、オーバーハング	G4に該当する	<input checked="" type="checkbox"/>		

評点は自動的に算出されます。

また、「地震時の安定性」についても、要因の選択内容によって自動的に選択されます。
(様式-7 安定度調査表 (落石・崩壊) のみ)

入力した内容を全て消去する場合は、[すべてクリア]ボタンを押してください。

施設管理番号							卸分記号		
シート複製		シート削除		すべてクリア					

5-2 囲い線による選択

画面上部のメニューの「表示」→「ツールバー」から「図形描画」を選択してチェックを入れた状態にしてください。ツールバーは、通常 Excel のウィンドウの下部に表示されます。



楕円のアイコンをクリックしてください。

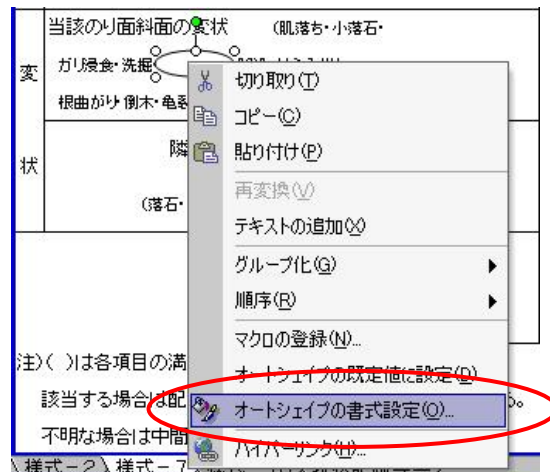
Excel の入力画面上にカーソルを移動させると、カーソルが+(十字)に変化します。

囲いたい箇所でクリックし、ボタンを押したままカーソルを移動すると楕円の大きさが変化します。
任意の大きさにボタンを離してください。

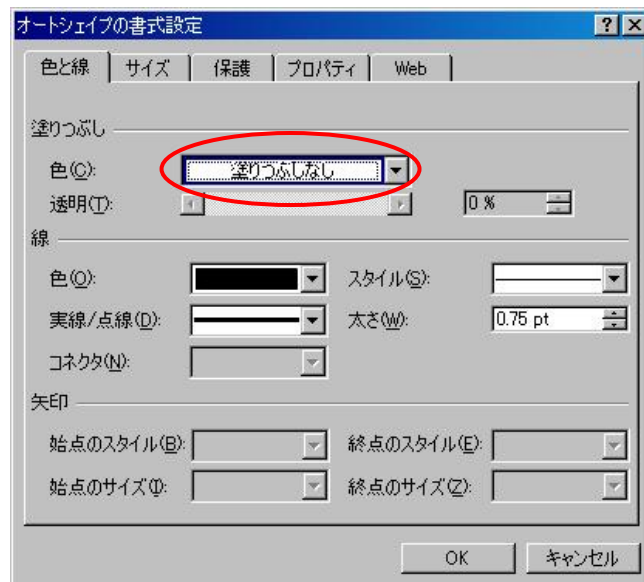
変 状	当該のり面斜面の変状 (肌落ち・小落石・ ガリ浸食・洗掘・ハシ化・カ孔・崩落・はらみ出し・ 根曲り倒木・亀裂・開口亀裂・その他対策工の変状)	複数該当・明瞭なものあり	<input type="radio"/>	12	0 (12)
		あり・不明瞭なもの	<input type="radio"/>	8	
		なし	<input checked="" type="radio"/>	0	
	隣接するのり面・斜面等の変状 (落石・崩壊・亀裂・はらみ出し・その他の変状)	複数該当・明瞭なものあり	<input type="radio"/>	5	0 (5)
		あり・不明瞭なもの	<input type="radio"/>	3	
		なし	<input checked="" type="radio"/>	0	

楕円の線の部分をクリックしたまま動かすと、位置を移動できます。
 隅の○の部分をクリックしたまま動かすと、大きさを変えることができます。
 Alt キーを押しながらマウスを操作すると細かく動かせます。

作成した楕円の書式を変更するには、作成した楕円をダブルクリックするか、クリックして隅に○印がついた状態にしてからマウスの右ボタンを押し、表示されたメニューから「オートシェイプの書式設定」を選択してください。



設定画面が表示されるので、各書式を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



5-3 安定度調査表の複製

安定度調査表が複数枚必要な場合は[シート複製]ボタンを押してください。シートが複製されます。
尚、シートの複製は入力した内容も複製します。

施設管理番号										部分記号	
										シート複製	シート削除
										すべてクリア	

安定度調査表を複数枚作成する場合は必ず「部分記号」に重複しない内容を入力してください。

部分記号	S-1	N-1
------	-----	-----

複製した安定度調査表が必要ない場合は、[シート削除]ボタンを押してください。

なお、この他の安定度調査表の入力における注意点は巻末資料を参照してください。

6 被災履歴記録表の入力

被災履歴記録表は、「点検要領」4-2. 調査結果の整理 及び、以下の入力方法に従い、正しく入力してください。

「4. 箇所別記録表の入力」を参考に入力を行ってください。

様式-16 被災履歴記録表															管理機関名		中国地方整備局			
シール概要		シール南緯		被災機関		発生経緯		発生原因(事)		(区)		上下線の区		管理機関コード		口口国道事務所				
被災発生年月日	年	月	日	時	分	秒	被災発生年月日	年	月	日	時	分	秒	被災発生年月日	年	月	日	時	分	秒
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 中継区(被災) (対象) 中継区(被災) (対象) </div>																				
<div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">＜注意＞</p> <p style="color: red;">規模・被害のコメントの文字の入力制限は255文字です(改行コード含む)</p> </div>																				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> シールド区(被災) (対象) シールド区(被災) (対象) </div>																				
<div style="border: 2px solid green; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="color: red; font-weight: bold;">＜注意＞</p> <p style="color: red;">規模・被害のコメントの文字の入力制限は255文字です(改行コード含む)</p> </div>																				

以下の項目は箇所別記録表に入力したデータが自動転記されます。

- ・ 管理機関名
- ・ 管理機関コード
- ・ 施設管理番号
- ・ 橋梁名（橋梁基礎の洗掘）
- ・ 河川名（橋梁基礎の洗掘）
- ・ 河川管理者（橋梁基礎の洗掘）

なお、この他の被災履歴記録表における入力の注意点は巻末資料を参照してください

7 現状記録写真の入力

現状記録写真は、以下の入力方法に従い、正しく入力してください。

1 シートに写真を4枚貼ることができます。

写真が4枚より多い場合は、写真を貼る前に写真の枚数に合わせて、予めシートを複製しておくことをお勧めします。(※写真を先に貼ると、写真も含めて複製するため)

例) 写真が16枚の場合、シートの複製を予め3回行なっておく。

写真が4枚より多い場合は、写真を貼る前に写真の枚数に合わせて、予めシートを複製しておくことをお勧めします。(※写真を先に貼ると、写真も含めて複製するため)

例) 写真が 16 枚の場合、シートの複製を予め 3 回行なっておく。

「4. 箇所別記録表の入力」を参考にシートに画像を取り込んでください。
写真にとられず、補足図面等をスキャンした画像(画像ファイルであれば貼り付け可能)も貼り付けることが可能です。

写真にとられず、補足図面等をスキャンした画像(画像ファイルであれば貼り付け可能)も貼り付けることが可能です。

[illegible]

以下の項目は箇所別記録表に入力したデータが自動転記されます。

- | | | |
|----------|---------------|------------------|
| ・管理機関名 | ・橋梁名（橋梁基礎の洗掘） | ・河川名（橋梁基礎の洗掘） |
| ・管理機関コード | ・延長 | ・河川管理者（橋梁基礎の洗掘） |
| ・施設管理番号 | ・事業区分 | ・位置目印（橋梁基礎の洗掘以外） |
| ・路線名 | ・路線種別 | ・緯度、経度 |
| ・距離表 | ・現道旧道区分 | ・測地系 |
| ・上下線の別 | ・所在地 | |

卷末資料

入力上の注意点（箇所別記録表）

道路防災点検結果入力用ファイル（以下ファイルという）は、データの未入力や誤入力を極力減らす考え方で作成されています。そのため、ファイルにはプルダウン形式の埋め込みや自動計算ボタンなど利用者の負担軽減を目的とした様々な機能を実装しました。

本資料は、不明時の取扱いなどファイルに実装できない事項について、入力者への補足説明用資料として作成したものです。入力にあたっては、下記の入力方法に従って入力頂けますよう、お願い致します。

箇所別記録表については、以下の点に注意して入力して下さい。

項目	対象様式	入力方法	入力に当たっての注意点
管理機関名（上段）	共通	選択式	未選択は不可
管理機関名（下段）	共通	入力式	未入力は不可 事務所名、管理機関名等を入力。
管理機関コード	共通	選択式	7桁の内、1桁でも未入力は不可 検査数字は自動計算される 「【参考】検査数字の算出方法」を参照
施設管理番号	共通	入力式	8桁の内、1桁でも未入力は不可
点検対象項目	共通	入力不要	入力不要
路線名	共通	入力式	未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
距離標（自）km	共通	符号は選択式 数字は入力式	未入力は不可
距離標（自）m	共通	入力式	不明の場合km欄は「-000.0」、m欄は「00」と入力
距離標（至）km	共通	符号は選択式 数字は入力式	未入力は不可
距離標（至）m	共通	入力式	不明の場合km欄は「-000.0」、m欄は「00」と入力
上下線の別	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合は「他」を選択
橋梁名	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
延長	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.000」と入力
橋長	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.000」と入力
事業区分	共通	選択式	未選択は不可
道路種別	共通	選択式	未選択は不可
現道・旧道区分	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合は「現道」を選択
所在地（都道府県）	共通	選択式	未選択は不可
所在地（市郡区・支庁名）	共通	入力式	未入力は不可
所在地（市郡区・支庁）	共通	選択式	未選択は不可
所在地（区町村名）	共通	入力式	未入力は不可
所在地（区町村）	共通	選択式	未選択は不可
所在地（丁目大字地名）	共通	入力式	空欄可
位置目印	共通	入力式	未入力は不可 ない場合は「なし」と入力
河川名	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
河川管理者	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
北緯（度）	共通	入力式	未入力は不可（20～45）
北緯（分）	共通	入力式	未入力は不可（0～59）
北緯（秒）	共通	入力式	未入力は不可（0～59.9） GPS測定の場合は、小数点第一位まで必ず記入
東経（度）	共通	入力式	未入力は不可（122～153）
東経（分）	共通	入力式	未入力は不可（0～59）
東経（秒）	共通	入力式	未入力は不可（0～59.9） GPS測定の場合は、小数点第一位まで必ず記入
測地系	共通	選択式	未選択は不可
事前通行規制指定区間	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合は「無」を選択
規制基準等（連続雨量）	共通	入力式	事前通行規制指定区間で「有」を選択した場合、連続と時間雨量が両方未入力は不可
規制基準等（時間雨量）	共通	入力式	不明な場合は「0」と入力
交通量（平日）	共通	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0」と入力
交通量（休日）	共通	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0」と入力
DID区間	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合「非該当」を選択
バス路線	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合「非該当」を選択
迂回路	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合「無」を選択
緊急輸送道路区分	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合「指定無」を選択
スケッチ・現況写真	共通	添付式	空欄可
位置図	共通	添付式	空欄可
橋梁一般図	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	添付式	空欄可
洗掘・変状の状況	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	添付式	空欄可


項目	対象様式	入力方法	入力に当たっての注意点
河床勾配	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0」と入力
計画河床高	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
最深河床高	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
河積阻害率	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
最小径間長	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
桁下高	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
橋台構造形式	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	選択式・入力式	空欄可 ただし、点検基礎選定理由で橋台に入力があった場合は、未選択は不可
橋台基礎形式	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	選択式・入力式	空欄可 ただし、点検基礎選定理由で橋台に入力があった場合は、未選択は不可
橋脚構造形式	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	選択式・入力式	空欄可 ただし、点検基礎選定理由で橋脚に入力があった場合は、未選択は不可
橋脚基礎形式	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	選択式・入力式	空欄可 ただし、点検基礎選定理由で橋脚に入力があった場合は、未選択は不可
橋軸方向幅	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
点検基礎選択理由 1)	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
点検基礎選択理由 2)	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
点検橋脚	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可 ただし、橋脚構造・基礎形式が選択されている場合は、未入力は不可 また、点検橋脚、点検橋台共に未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
点検橋台	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可 ただし、橋台構造・基礎形式が選択されている場合は、未入力は不可 また、点検橋脚、点検橋台共に未入力は不可 不明な場合は「不明」と入力
基準点位置	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
（洗掘状況）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	添付式	空欄可
HU	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
HS	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
HL	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
DS	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0.00」と入力
点検実施（年）	共通	入力式	未入力は不可
点検実施（月）	共通	入力式	未入力は不可
点検実施（日）	共通	入力式	未入力は不可
天候	共通	選択・入力式	未選択は不可
調査方法 1	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択・入力式	未選択は不可
調査方法 2	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択・入力式	空欄可
調査方法 3	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択・入力式	空欄可
調査方法 4	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	入力式	空欄可
橋台調査方法	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
橋脚調査方法	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
特記事項	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
所見	共通	入力式	空欄可
被災履歴 1	共通	選択式	未選択は不可
被災履歴 2	共通	選択式	空欄可 ただし、被災履歴 1 で「有」を選択した場合は、未選択は不可 また、「被災履歴表参照」を選択した場合は、被災履歴表未入力は不可
被災履歴 3	共通	入力式	空欄可
重点対象項目	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択式	未選択は不可
対象施設番号 1（上段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	入力式	空欄可 ただし、重点対象項目で「有」を選択した場合は、未入力は不可 また、対象施設番号 1（下段）を選択した場合は、8桁の内、1桁でも未入力は不可
対象施設番号 1（下段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択式	空欄可 ただし、重点対象項目で「有」を選択した場合は、未選択は不可 また、対象施設番号 1（上段）を入力した場合は、未選択は不可
対象施設番号 2（上段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	入力式	空欄可 ただし、対象施設番号 2（下段）を選択した場合は、8桁の内、1桁でも未入力は不可
対象施設番号 2（下段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択式	空欄可 ただし、対象施設番号 2（上段）を入力した場合は、未選択は不可
対象施設番号 3（上段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	入力式	空欄可 ただし、対象施設番号 3（下段）を選択した場合は、8桁の内、1桁でも未入力は不可
対象施設番号 3（下段）	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）以外	選択式	空欄可 ただし、対象施設番号 3（上段）を入力した場合は、未選択は不可
H8評点	その他（様式 - 3）以外	入力式	空欄可
H8総合評価	その他（様式 - 3）以外	選択式	空欄可 ただし、H8総合評価を選択、H8対応を選択した場合は、未入力は不可
H8対応	その他（様式 - 3）以外	選択式	空欄可 ただし、H8評点を入力、H8総合評価を選択した場合は、未選択は不可 不明な場合は「未着手」を選択
H8評点	その他（様式 - 3）	入力式	空欄可
H8総合評価	その他（様式 - 3）	選択式	空欄可 ただし、H8対応を選択した場合は、未選択は不可

項目	対象様式	入力方法	入力に当たっての注意点
H8対応	その他（様式 - 3）	選択式	空欄可 ただし、H8総合評価を選択した場合は、未入力は不可 不明な場合は「未着手」を選択
H18評点	その他（様式 - 3）以外	リンク式	空欄は不可 評価ボタンを押すと安定度調査表からデータを取得する
H18点検結果	その他（様式 - 3）以外	リンク式	空欄は不可 評価ボタンを押すと安定度調査表からデータを取得する
H18評点	その他（様式 - 3）	入力不要	入力不要
H18点検結果	その他（様式 - 3）	選択式	未選択は不可
点検結果の判定理由	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
予想災害規模 現象 1	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 1、規模 1 に何かを入力した場合は、未選択は不可 また、H18総合評価が「対策が必要と判断される」となった場合は、未選択は不可
予想災害規模 入力欄 1	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 1 で「その他」を選択した場合は、未入力は不可
予想災害規模 規模 1	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 1、入力欄 1 に何かを入力した場合は、未入力は不可 また、H18総合評価が「対策が必要と判断される」となった場合は、未入力は不可
予想災害規模 現象 2	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 2、規模 2 に何かを入力した場合は、未選択は不可
予想災害規模 入力欄 2	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 2 で「その他」を選択した場合は、未入力は不可
予想災害規模 規模 2	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 2、入力欄 2 に何かを入力した場合は、未入力は不可
予想災害規模 現象 3	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 3、規模 3 に何かを入力した場合は、未選択は不可
予想災害規模 入力欄 3	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 3 で「その他」を選択した場合は、未入力は不可
予想災害規模 規模 3	共通	入力式	空欄可 ただし、現象 3、入力欄 3 に何かを入力した場合は、未入力は不可
想定対策工 工種 1	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 1、その他 1 に何かを入力した場合は、未選択は不可 また、H18総合評価が「対策が必要と判断される」となった場合は、未選択は不可
想定対策工 入力欄 1	共通	入力式	空欄可
想定対策工 その他 1	共通	入力式	空欄可
想定対策工 工種 2	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 2、その他 2 に何かを入力した場合は、未選択は不可
想定対策工 入力欄 2	共通	入力式	空欄可
想定対策工 その他 2	共通	入力式	空欄可
想定対策工 工種 3	共通	選択式	空欄可 ただし、入力欄 3、その他 3 に何かを入力した場合は、未選択は不可
想定対策工 入力欄 3	共通	入力式	空欄可
想定対策工 その他 3	共通	入力式	空欄可
地震時の安定性	落石・崩壊（様式 - 2）	リンク式	空欄は不可 評価ボタンを押すと安定度調査表からデータを取得する
30年積雪深	雪崩（様式 - 4） 地吹雪（様式 - 4）	入力式	未入力は不可 不明な場合は「0」を入力
その他	橋梁基礎の洗掘（様式 - 5）	入力式	空欄可
箇所別記録表 2	橋梁基礎の洗掘（様式 - 6）	入力式	空欄可

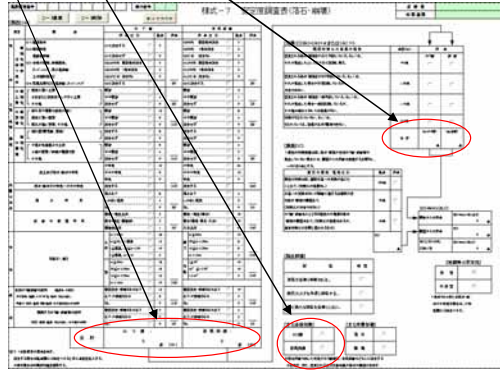
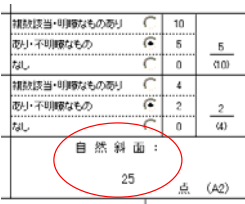
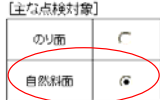
入力上の注意点（安定度調査表）

安定度調査表については、特に以下の点に注意して入力して下さい。

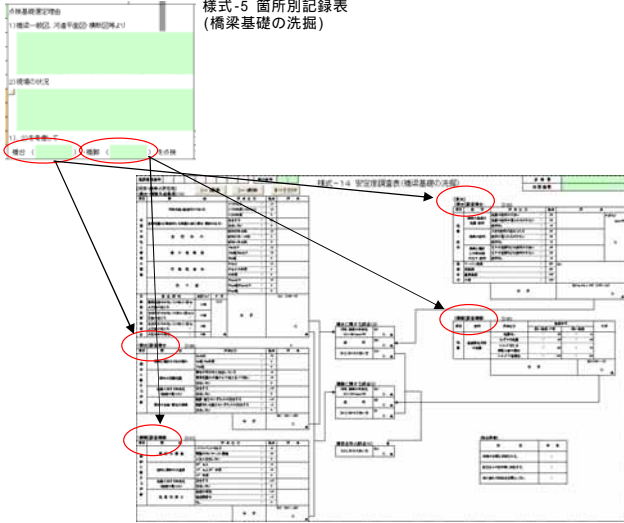
【共通】

項目	入力に当たっての注意点
部分記号	空欄可 ただし、複製した場合は、未入力は不可 また、複製した場合は、同じ部分記号の入力は不可
点検者	未入力は不可
所属機関	未入力は不可
配点入力	実線枠内（ で囲った部分）の選択肢は択一選択すること 
総合評価	未選択は不可

【落石・崩壊】

項目	入力に当たっての注意点
合計・主な点検対象・対策工	合計・主な点検対象・対策工のチェックにのり面、自然斜面の矛盾がないこと 
主な点検対象	(例えば)自然斜面のみで評価している場合には、主な点検対象として自然斜面を選択すること  未選択は不可（必ず「のり面」および「自然斜面」の何れかどちらにチェック） 

【橋梁基礎の洗掘】

項目	入力に当たっての注意点
<p>調査橋台・橋脚 変状橋台・橋脚</p>	<p>箇所別記録表と矛盾はないか (例えば) 箇所別記録表の橋台にのみ入力している場合には、橋台のみチェックすること</p> <p>様式-5 箇所別記録表 (橋梁基礎の洗掘)</p> 

入力上の注意点（被災履歴記録表）

被災履歴記録表については、特に以下の点に注意して入力して下さい。

項目	対象様式	入力方法	入力に当たっての注意点
被災種別	共通	選択式・入力式	未選択は不可
距離標（自）km	共通	符号は選択式 数字は入力式	未入力は不可 不明の場合km欄は「-000.0」、m欄は「00」と入力
距離標（自）m	共通	入力式	
距離標（至）km	共通	符号は選択式 数字は入力式	未入力は不可 不明の場合km欄は「-000.0」、m欄は「00」と入力
距離標（至）m	共通	入力式	
上下線の別	共通	選択式	未選択は不可 不明な場合は「他」を選択
H8年度防災点検箇所	共通	選択式	未入力は不可 不明な場合は「非該当」を選択
北緯（度）	共通	入力式	未入力は不可（20～45）
北緯（分）	共通	入力式	未入力は不可（0～59）
北緯（秒）	共通	入力式	未入力は不可（0～59.9） GPS測定の場合は、小数点第一位まで必ず記入
東経（度）	共通	入力式	未入力は不可（122～153）
東経（分）	共通	入力式	未入力は不可（0～59）
東経（秒）	共通	入力式	未入力は不可（0～59.9） GPS測定の場合は、小数点第一位まで必ず記入
測地系	共通	選択式	未選択は不可
架設年次	橋梁基礎の洗掘（様式 - 17）	入力式	未入力不可 不明な場合は「不明」と入力
橋長	橋梁基礎の洗掘（様式 - 17）	入力式	未入力不可 不明な場合は「0.0」と入力
最小径間長	橋梁基礎の洗掘（様式 - 17）	入力式	未入力不可 不明な場合は「0.0」と入力
橋梁一般図 右下の表	橋梁基礎の洗掘（様式 - 17）	選択式・入力式	空欄可 ただし、 に 印をつけた場合は、橋台および橋台周辺護岸の未選択は不可 また、橋台および橋台周辺護岸を選択した場合は、に 印の未選択は不可 に 印をつけた場合は、橋台背面盛土の未選択は不可 また、橋台背面盛土を選択した場合は、に 印の未選択は不可 に 入力した場合は、に 印の未選択は不可

【参考】検査数字の算出方法

管理機関名が「都道府県」「政令指定都市」「市町村」の場合

1. 管理機関コード欄の第1桁から第5桁までの数字に、それぞれ6、5、4、3、2を乗じる
2. 1.で算出した積の和を求める
3. 2.で算出した和が11より小となるときは、11から和を控除した数字を検査数字とする
4. 2.で算出した和が11より大となるときは、和を11で除し、その余りを求める
5. 11と4.で求めた余りの差の下1桁を検査数字とする
6. 検査数字を入力する場合は6桁目 に入力
7. 基本的に使用しない7桁目は0を入力

管理機関コード	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目				
	1	6	2	0	1	<div></div>	0				
	x	x	x	x	x						
乗数	6	5	4	3	2						
積	6	30	8	0	2						
積の和	6	+	30	+	8	+	0	+	2	=	46
	46	÷	11	=	4	余り	2				
	11	-	2	=	9	検査数字	: 9				

管理機関名が「各地方整備局」「北海道開発局」「沖縄総合事務局」の場合

1. 管理機関コード欄の第1桁から第6桁までの数字に、それぞれ7、6、5、4、3、2を乗じる
2. 1.で算出した積の和を求める
3. 2.で算出した和が11より小となるときは、11から和を控除した数字を検査数字とする
4. 2.で算出した和が11より大となるときは、和を11で除し、その余りを求める
5. 11と4.で求めた余りの差の下1桁を検査数字とする
6. 検査数字を入力する場合は7桁目 に入力

管理機関コード	1桁目	2桁目	3桁目	4桁目	5桁目	6桁目	7桁目						
	8	4	4	5	0	1							
	x	x	x	x	x	x							
乗数	7	6	5	4	3	2							
積	56	24	20	20	0	2							
積の和	56	+	24	+	20	+	20	+	0	+	2	=	122
	122	÷	11	=	4		余り	1					
	11	-	1	=	10		検査数字	: 0					

管理機関名が「各高速株式会社」「都道府県公社」の場合

検査数字の設定なし